

SigtunaDAR3による不具合修復 および 見出し編集プログラム

— ユーザーズ・マニュアル —

SigtunaCorrection (ver3.1.0)

目 次

1. はじめに
2. 本プログラムでできること
3. 使用にあたっての注意事項
4. 実行に必要な要件
5. 準備作業
6. 使用方法
 - (1) 起 動
 - (2) 「Daisyプロジェクト不具合の修復」画面
 - (3) 「見出しの編集」画面
 - (4) 新しい見出しの追加——「見出し追加の設定」画面
 - (5) 再び「Daisyプロジェクト不具合の修復」画面
7. メニューバーについて
8. 著作権に関して

1. はじめに

本プログラムはフリーソフトですが、末尾の著作権に関する表示の内容に同意した上でご利用ください。

[ページトップへ](#)

2. 本プログラムでできること

Internet ExplorerのVersion 8以上がインストールされたパソコン（Windows 7 PC等）でDaisy図書作成ソフト“SigtunaDAR3.exe”（以下、“Sigtuna”と表記します）を用いると、プロジェクトに含まれるフォルダやファイルにいくつかの不具合が発生して、正常な図書が作成できません。

本プログラムは、このような環境下で“Sigtuna”によりDaisy図書を作成・編集した後に生じる不具合を修復するプログラムです。

同時に本プログラムは、Daisy図書に設定された見出しを、本文中の他の位置に移動あるいは削除したり、また、新たに見出しを追加する等、見出しを編集する機能もあります。また、見出しのレベルの変更も可能です。

特に“Sigtuna”により生じる不具合に関しては、本プログラムは、下記の問題に関する修正機能を持っています。

- (1) “Sigtuna”実行後ならびにメタデータの入力・修正後に生じる、“ncc.html”ファイル中のページ番号の記述行 (“<span”で始まる行) でのタグの不正、および <body>~</body>内のデータ消失。
- (2) ルビを付与したhtmlファイルから新規作成したプロジェクトをAMIS等で再生すると、ルビの位置がずれたり、ルビを付与した漢字の後に不自然な空白が生じること。また、この時、書名タイトルにルビが付与されていると、タイトルの一部または全部がナビゲーションサイドバーに表示されないこと。
- (3) エクスポート実行後に、エクスポート先フォルダからページ分割された2ページ目以降に対応するhtmlファイルの消失、ならびにページ分割された2ページ目以降で使用される図のJpegファイルの消失。

さらに、“Sigtuna”での編集作業の過程で本文のタイトルや見出し部分にルビが付与された場合にも、そのふりがなが“Sigtuna”のナビゲーションコントロールセンター画面およびAMISのナビゲーションサイドバーに表示されるようになります。

また、“Sigtuna”に依ることなく、見出しの移動、削除、追加および見出しレベルの変更を行うことができます。

[ページトップへ](#)

3. 使用にあたっての注意事項

- (1) 本プログラムは、“Sigtuna”で『書誌情報（メタデータ）入力処理』を行った後は、『エクスポート処理』を行う前に必ず本プログラムを実行して不具合を修復しておく必要があります（“Sigtuna”で『書誌情報（メタデータ）入力処理』と『エクスポート処理』とを引き続いて行った場合は、エクスポート処理後に本プログラムを実行してください）。
- (2) 『エクスポート処理』を行った後にも必ず本プログラムを実行して不具合を修復してください。
- (3) 本プログラムの処理の途中で、本文の見出しの順序をプログラムに対して指示する必要があります。起動前に見出しの順序を確認してください。本プログラムは見出し（NCCアイテム）の移動、削除、追加および見出しレベルの変更に対応しています。

[ページトップへ](#)

4. 実行に必要な要件

- ① .Net Framework 3.5以上がインストールされていること（OSがWindow 7の場合、標準で.Net Framework 3.5がインストールされています）。
- ② プロジェクトの本文テキストに対応するhtmlファイルにはエラーが含まれていないこと。また、プロジェクトのフォルダには使用されないhtmlファイルは含まれていないこと。

[ページトップへ](#)

5. 準備作業

圧縮ファイル“SigtunaCorrection.zip”を展開し、プログラムファイル“SigtunaCorrection.exe”と“Help”フォルダとを任意の同一フォルダに格納します。インストール作業は必要ありません。レジストリには登録されません。

[ページトップへ](#)

6. 使用方法

(1) 起 動

“Sigtuna”でのプロジェクトの作成・編集作業が終わり、“Sigtuna”を終了させたら、5. でダウンロードした“SigtunaCorrection.exe”をダブルクリックして起動します。

「開いているファイル - セキュリティの警告」の画面（図1）が表示された場合には、「実行(R)」ボタンをクリックしてください。



図1

(注) この画面で「このファイル開く前に常に警告する(W)」のチェックを外すと、次回の起動からこの警告画面は表示されなくなります。

[ページトップへ](#)

(2) 「Daisyプロジェクト不具合の修復」画面（図2）

- ① 「プロジェクト・フォルダ名」のテキストボックスに、修復対象のプロジェクト・フォルダ（“ncc.html”が含まれているフォルダ）名を入力します。

“Sigtuna”で『エクスポート処理』を行った後で実行する場合は、「エクスポート先フォルダ名」のテキストボックスにエクスポート先のフォルダ名も入力しま

す（修復済のエクスポート先プロジェクトを“Sigtuna”で改めて編集作業を行ってエクスポート処理を行っていない場合には、そのフォルダ名を「プロジェクト・フォルダ名」に入力します）。

- ② 「処理開始」 ボタンをクリックします。

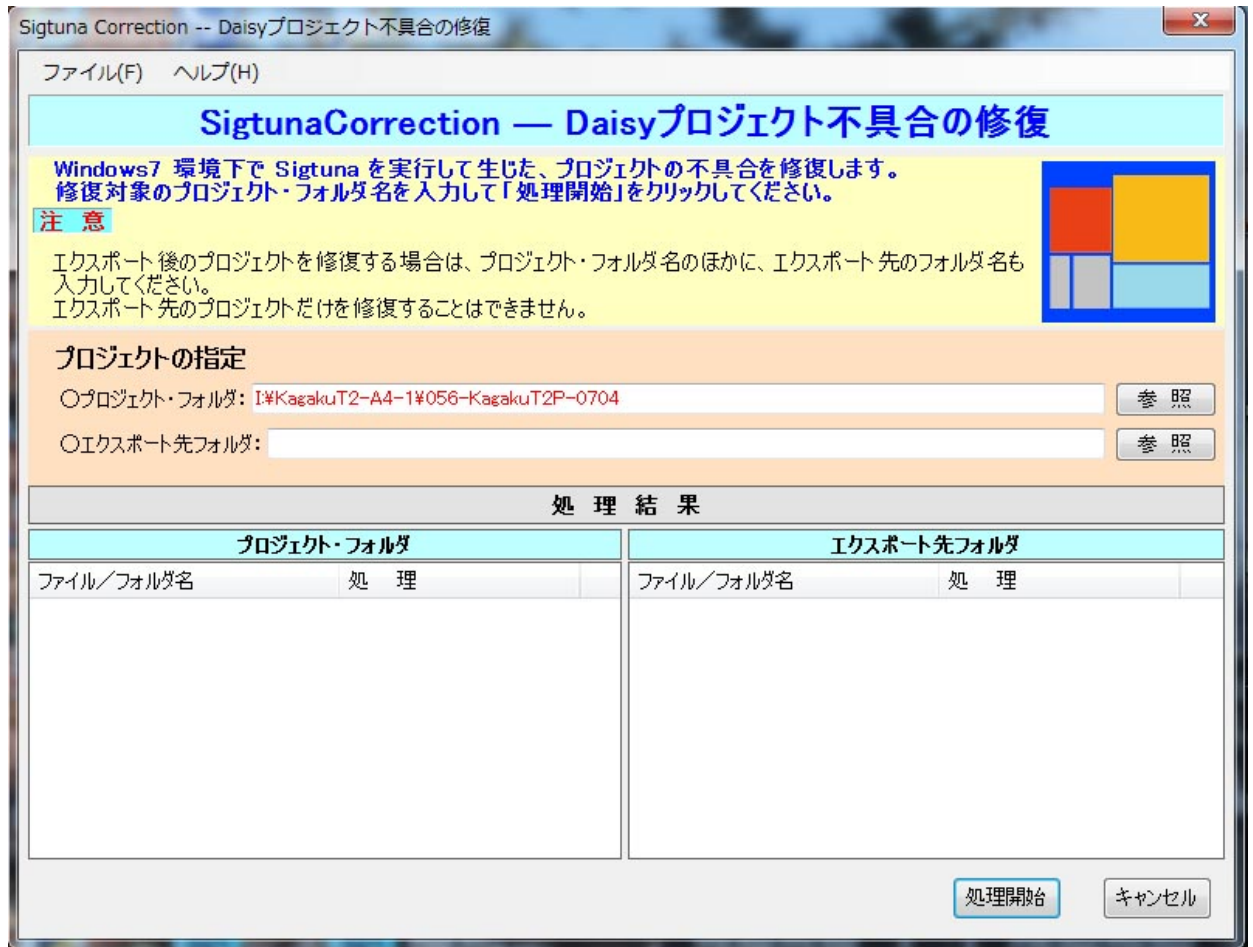


図2

[ページトップへ](#)

(3) 「見出しの編集」画面（図3）

プロジェクトに含まれる本文の見出し、見出しレベルと、その見出しが含まれるhtmlファイルの名前（拡張子を除く）のリストが順不同で表示されています(注1)。

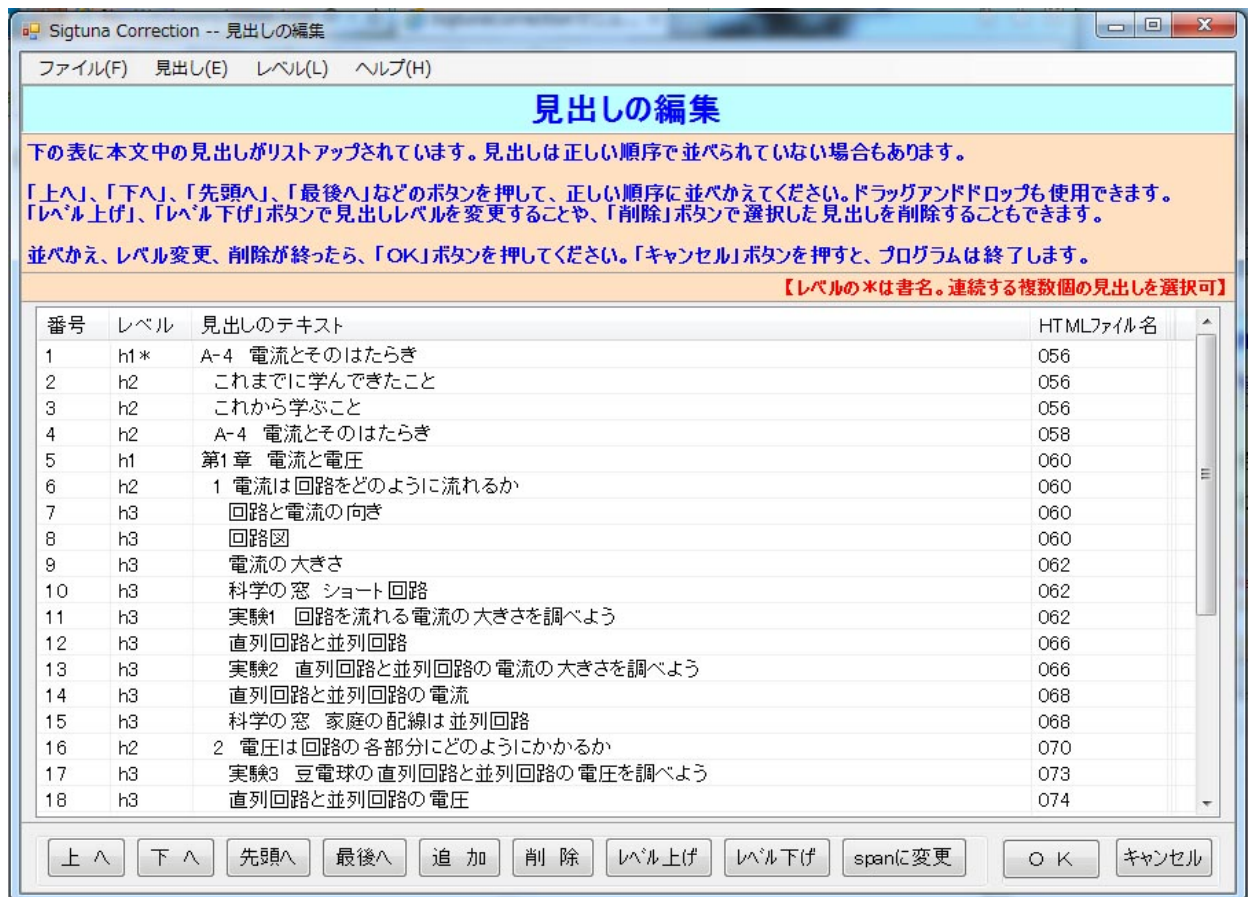


図3

ここでこれら見出しを、「上へ」、「下へ」、「先頭へ」、「最後へ」ボタンをクリックすることで、正しい順序に並べかえてください。連続する複数の見出しを選択することができます。

また、選択した見出しをドラッグアンドドロップで移動することもできます。新規に見出しを追加するには、「追加」ボタンをクリックします。「見出し追加の設定」画面が表示されるので、そこで見出し追加処理を行います（注2）（→(4)）。

見出しを選択して「削除」ボタンをクリックすると、その見出し（から次の見出しの直前までのデータ）が削除されます。見出しのレベルを変更するには、「レベル上げ」または「レベル下げ」ボタンをクリックします。

見出しを選択して「spanに変更」ボタンをクリックすると、その見出しのデータはhタグに挟まれたテキストから、spanタグに挟まれたテキストに変換され、以下の次の見出しまでのテキストは、前の見出しの下に属するテキストになります。

見出しの移動、削除、追加および見出しレベルの変更が終わったら「OK」ボタンをクリックします。「キャンセル」ボタンをクリックすると、プロジェクトは元の状態に戻されプログラムは終了します。

（注1）“Sigtuna”の編集作業でNCCアイテムの移動、削除、追加およびレベルの変更を行った後に本プログラムを実行した時には、初めに「見出しの編集」画面にはその結果は反映されません。改めて「見出しの編集」画面で移動、削除、追加およびレベルの変更を行う必要があります。“Sigtuna”の編集機能を用いて見出しの移動、削除、追加およ

びレベルの変更を行う代わりに、本プログラムの「見出しの編集」画面で見出しの移動、削除、追加およびレベルの変更を実現することが可能です。

(注2) 新しく見出しを追加する場合は、追加するファイル名およびそのファイル中の追加位置、追加する見出しのタイトルとレベルを確認しておいてください。

[ページトップへ](#)

(4) 新しい見出しの追加——「見出し追加の設定」画面（図4）

「見出しの編集」画面（図3）で「追加」ボタンをクリックすると、「見出し追加の設定」画面が表示されます。

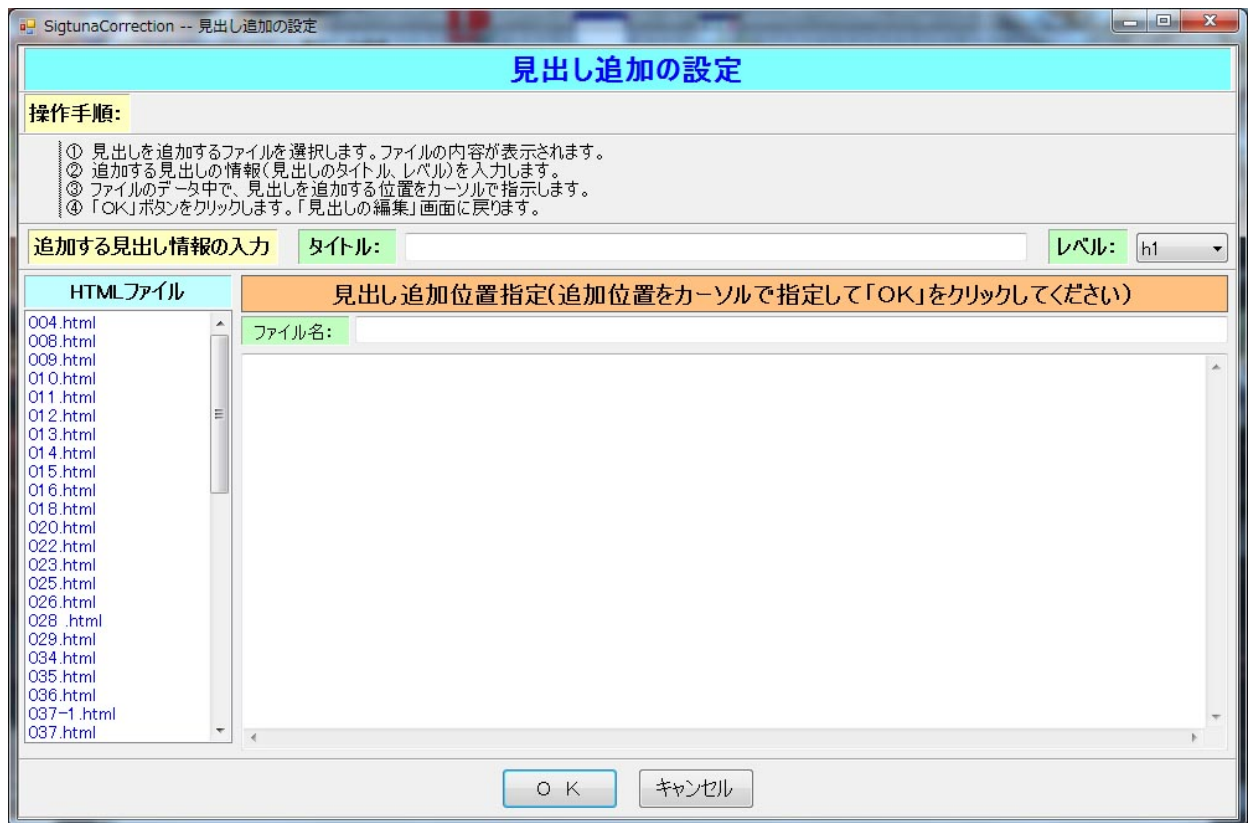


図4

- ① 画面左のhtmlファイルのリストボックスに表示されているhtmlファイルのリストの内、見出しを追加するhtmlファイルを選択しクリックします。画面右にそのhtmlファイルのデータが表示されます。
- ② 追加する見出しのタイトルを入力し、そのレベルを指定します。
- ③ 表示されているhtmlファイルデータ中の見出しを追加する位置に、カーソルをおいて一度クリックすることにより指定します。
見出しの追加位置は、htmlタグの内部や、行単位のブロック要素の中（<p>と</p>の間）には指定できません。
- ④ 「OK」ボタンをクリックします。入力した見出しが追加された形で、「見出しの編集」画面に戻ります。

(5) 再び「Daisyプロジェクト不具合の修復」画面 (図5)

修復処理が開始され、完了すると、「[処理結果](#)」の欄にその結果が表示されます。

「[処理結果](#)」の「[プロジェクト・フォルダ](#)」欄、および「[プロジェクトの指定](#)」で「[エクスポート先フォルダ](#)」も入力した場合は「[処理結果](#)」の「[エクスポート先フォルダ](#)」欄にも、変更されたファイルのファイル名と変更の種類（修正・削除・新規作成・ファイル回復）が表示されます。

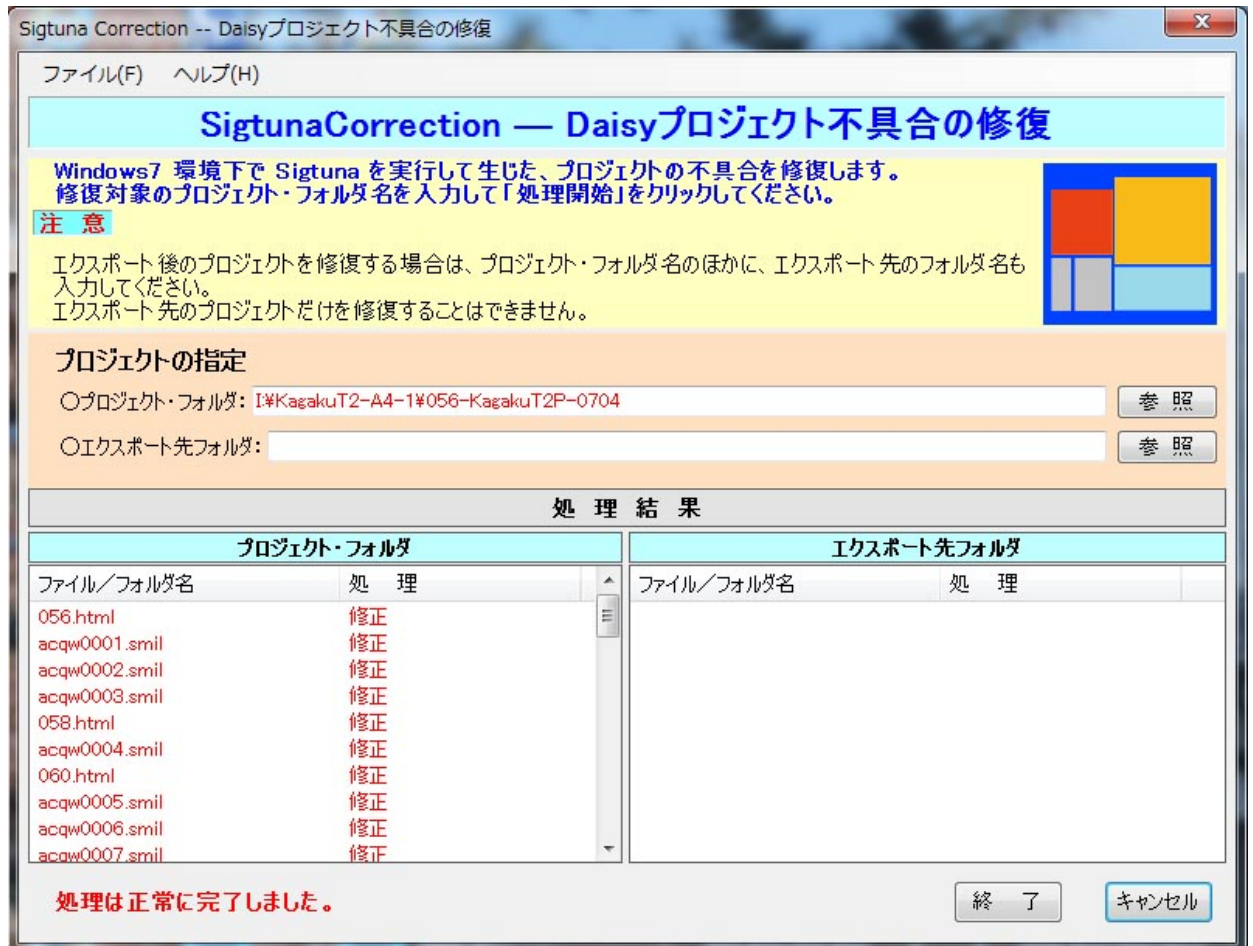


図5

正常に修復されているのを確認したら、「[終了](#)」ボタンをクリックしてプログラムを終了させます。

ここで「[キャンセル](#)」ボタンをクリックすると、修復結果は廃棄され、プロジェクトは本プログラム実行前の状態（不具合の残る状態）に戻されます。

7. メニューバーについて

「[4. 使用法](#)」に記述された各コマンド・ボタンの機能は、ウィンドーに用意されているメニューの同名のサブメニュー項目をクリックすることにより実行することができます。

ただし、「ファイル」 - 「プロジェクト・フォルダの選択」は「参照」ボタンと同じ機能を実行します。

「ヘルプ」 - 「ユーザズ・マニュアル」では操作マニュアル（本文書）を表示することが、また、「ヘルプ」 - 「バージョン」では本プログラムのバージョン情報等を見ることができます。

[ページトップへ](#)

8. 著作権に関して

- 本プログラムはフリーソフトですが、著作権は所沢マルチメディアデイジーの正井良知が所有しています。
- 本プログラムの利用に関して生じたいかなる不具合や損害に対しても、著作権者は一切責任を負いません。
- 本プログラムの利用に関する質問には、著作権者の余力のある限り応じるつもりですが、サポートの義務は負いません。
- また、本プログラムは通知なく改訂する場合があります。
- なお、第三者が本プログラムならびに付属する操作説明書を改変する場合は、著作権者の書面による許可を必要とします。

[ページトップへ](#)